



B.LEAGUE

B.LEAGUE 2021-22 SEASON REPORT

2021.09.30 THU - 2022.05.29 SUN

DRIVE YOU CRAZY

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE



B.LEAGUE 2021-22 SEASONは、
新型コロナウイルス感染症の影響を最も受けたシーズンとなりました。
選手/スタッフの陽性者は、2020-21シーズンと比較し111名から440名へと増え、
リーグ戦において中止となった試合数も昨シーズンの倍以上の198試合となり、
当初開催予定の10.6%にあたる115試合が不開催となりました。
加えて、B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWAについても
念願だった沖縄アリーナでの開催を断念することとなりました。
他方でイベント開催制限が緩和され収容率100%での開催を取り戻し、
シーズン終盤には沖縄アリーナで8,000名以上の入場者数を記録。
日本生命 B.LEAGUE FINALS 2021-22においても満員御礼の盛り上がりの中開催することができました。
レギュラーシーズン965試合に加えて
B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2021-22、B2 PLAYOFFS 2021-22を含む
997試合を開催したシーズンとなりました。



B.LEAGUE

B.LEAGUE 2021-22 SEASON REPORT

INDEX

MESSAGE	P03
B.LEAGUE 2021-22 SEASON CALENDAR	P04
THE NUMBER OF ATTENDANCE	P05-P06
B.LEAGUE SNS	P06
B.LEAGUE CLUB SNS	P07
B1 RESULT	P08
B2 RESULT	P09
B.LEAGUE 2021-22 SEASON CLUB AWARD	P10
B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2021-22	P11
B2 PLAYOFFS 2021-22	P12
B1 LEADERS	P13
B2 LEADERS	P14
B.LEAGUE 2021-22 SEASON BEST FIVE / MVP	P15
B.LEAGUE VARIOUS AWARDS	P16
B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022	P17
B.LEAGUE HOPE	P18
B.LEAGUE STRENGTHENING TRAINING	P19



MESSAGE

島田慎二チェアマンより皆様へ

この度は、多くのファン、パートナー、メディアの皆さまのご支援、ご協力のもと「日本生命 B.LEAGUE FINALS 2021-22」「B.LEAGUE AWARD SHOW 2021-22」を経て、B.LEAGUE 6シーズン目を無事完遂できましたこと、心より感謝申し上げます。

今シーズンもオールスターゲームの中止や多くの選手/スタッフが感染するなど新型コロナウイルス感染症の影響を最も多く受けた厳しいシーズンではありましたが、シーズン中におけるクラブ主管の入場者数のリーグ記録を打ち立てる、沖縄アリーナでの8,309名の満員試合や日本生命B.LEAGUE FINALS 2021-22 においては3シーズンぶりに収容率100%で満員のお客さまを迎えての開催することができました。

まだまだ新型コロナウイルスとの戦いが続く中ではありますが、これまでの延長ではなく、よりアグレッシブな運営を行い、今まで以上の多くの方々の心を震わせられるよう、また日本を元気にできるよう、クラブ、選手、リーグが一体となって取り組んでいきたいと思っております。

2022-23シーズンも多くのお客さまにバスケットボールの魅力・感動をご提供し、B.LEAGUEひいてはバスケットボール界の発展に邁進して参ります。今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

B.LEAGUE チェアマン

島田慎二



B.LEAGUE 2021-22 SEASON CALENDAR

2021年

- 7月12日-8月1日 B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2021 開催
- 7月12日/26日 B.LEAGUE U18 全選手研修 実施
- 7月19日-20日 B.LEAGUE 新人選手研修 2021 実施
- 8月13日-12月26日 『鬼滅の刃』と「NPB・Jリーグ・B.LEAGUE」国内3スポーツリーグコラボ企画実施
- 8月16日 B.LEAGUE史上最大の採用プロジェクトが始動
- 9月19日-20日 B.LEAGUE 2021-22シーズン TIPOFF CONFERENCEをオンラインにて開催
- 9月30日 B.LEAGUE 2021-22 SEASON 開幕
- 10月29日-30日 B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2021 開催
- 10月23日-12月19日 B.LEAGUE U18 ELITE6 LEAGUE 2021開催
- 11月21日-22日 B.LEAGUE U15 CHALLENGE CUP 2021 代替大会 開催

2022年

- 1月6日 B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA 中止を決定
- 1月10日 B.DREAM PROJECT 2022 開催
- 1月15日 B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN STUDIO 配信
- B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA B.Hope Action DRIVE TO DREAM 「プロチャレ！(プログラミングチャレンジ) supported by 富士通」
- 2月11日-13日 B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2022 代替大会 開催
- 3月27日-30日 B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2022 開催
- 3月11日 B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA B.Hope Action DRIVE TO DREAM 「届け、バスケ！supported by 日本郵便」
- 4月4日 B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA チャリティーオークション実施
- 4月14日/21日/5月26日 B.LEAGUE U15/U18 COACH SUMMIT 2022 開催
- 5月2日 NFTを中心としたデジタル新サービス「B.LEAGUE PARK」公開
- 5月7日 B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA B.Hope Action DRIVE TO DREAM 「リモートコーチング supported by SoftBank」
- 5月28日 B.LEAGUE Hope × スペシャルオリンピックス日本 共同プロジェクト 「Challenge with ALL」 発足
- 5月28日-29日 日本生命 B.LEAGUE FINALS 2021-22 -年間優勝 宇都宮ブレックス-
- 6月2日-3日 B.LEAGUE AWARD SHOW 2021-22 開催
- 6月19日 B.LEAGUE TRYOUT 2022 開催
- 6月20日 B.LEAGUE U18 全選手研修 実施
- 6月4日-7月31日 B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2022 開催

THE NUMBER OF ATTENDANCE シーズン入場者数に関する記録

		2016-17	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22
B1	シーズン入場者数	1,500,828	1,564,121	1,662,119	1,144,415	882,440	1,193,713
	年間最多入場者試合	10,144 5/27 B.LEAGUE FINAL 川崎 vs 栃木 (代々木第一)	12,005 5/26 B.LEAGUE FINAL A東京vs千葉 (横浜アリーナ)	12,972 5/11 B.LEAGUE FINAL 千葉 vs A東京 (横浜アリーナ)	9,514 10/3 開幕戦 川崎 vs 宇都宮 (横浜アリーナ)	4,785 6/1 B.LEAGUE FINALS 宇都宮 vs 千葉 (横浜アリーナ)	8,309 5/22 SEMI FINALS 琉球 vs 島根 (沖縄アリーナ)
	シーズン平均入場者数	2,779	2,897	3,078	3,260 ※23節終了時点	1,554	1,983
	シーズン最多平均入場者数	4,503 千葉ジェッツ	5,196 千葉ジェッツ	5,204 千葉ジェッツ	5,116 千葉ジェッツ	2,353 川崎ブレイブサンダース	4,763 琉球ゴールデンキングス
	シーズン最多入場者試合	7,327 5/3 千葉vs秋田 (千葉ポートアリーナ)	6,299 5/6 北海道vs新潟 (北海きたえーる)	6,760 4/21 大阪vs京都 (おおきにアリーナ舞洲)	6,472 12/5 大阪vs千葉 (おおきにアリーナ舞洲)	3,901 5/5 琉球 vs 千葉 (沖縄アリーナ)	8,263 5/4 琉球 vs 千葉 (沖縄アリーナ)
B2	シーズン入場者数	646,800	836,804	821,993	569,703	340,582	279,306
	年間最多入場者試合	4,899 4/30 熊本vs広島 (熊本県立総合体育館)	4,909 5/13 秋田vs熊本 (CNAアリーナ★あきた)	5,041 4/6 茨城vs群馬 (アダストリアみとアリーナ)	4,007 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンブラザホール)	2,178 5/16 茨城 vs 仙台 (アダストリアみとアリーナ)	3,329 4/17 仙台 vs 福島 (ゼビオアリーナ)
	シーズン平均入場者数	1,198	1,550	1,522	1,407 ※24節終了時点	747	778
	シーズン最多平均入場者数	2,109 熊本ヴォルターズ	2,897 秋田ノーザンハピネッツ	2,567 仙台89ERS	2,448 仙台89ERS	1,134 仙台89ERS	1,538 仙台89ERS
	シーズン最多入場者試合	4,899 4/30 熊本vs広島 (熊本県立総合体育館)	4,721 3/17 秋田vs FE名古屋 (CNAアリーナ★あきた)	5,041 4/6 茨城vs群馬 (アダストリアみとアリーナ)	4,007 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンブラザホール)	2,056 11/22 仙台 vs FE名古屋 (ゼビオアリーナ仙台)	3,329 4/17 仙台 vs 福島 (ゼビオアリーナ)
B1/B2 OVER-ALL	2,238,359	2,502,931	2,593,217	1,719,191	1,293,393	1,575,908	

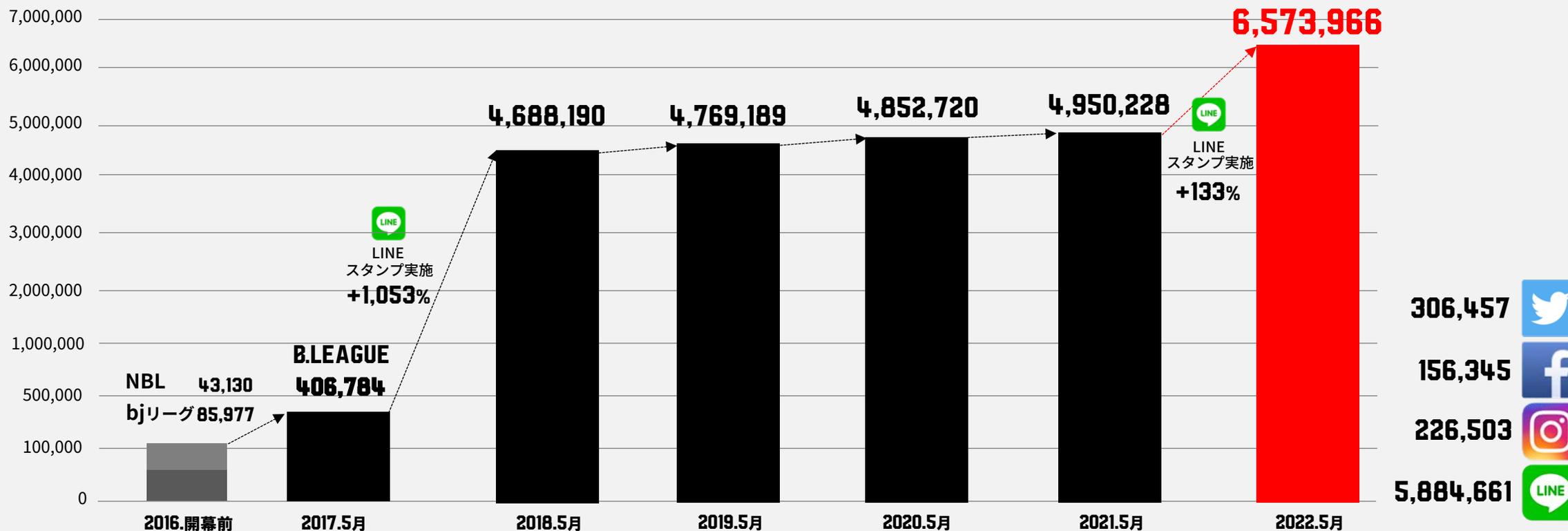
※2019-20 シーズンについては、B1・B2レギュラーシーズン中止開始節 (B1 23節、B2 24節) までの入場者数
 ※2020-21シーズン開幕にあたって原則政府が示す目安である 「入場制限付き開催 (50%)」 にて開催
 ※2020-21シーズンは **B1 20クラブ/B2 16クラブ** での開催

※2021-22シーズン途中より、順次 「条件付き100%開催」 へ移行したクラブあり
 ※2021-22シーズンは **B1 22クラブ/B2 14クラブ** での開催
 ※2021-22シーズンについては、リーグ戦終了時点の入場者数 (チャンピオンシップ、B2プレーオフを含まず)

B.LEAGUE SNS

リーグSNSフォロワー数 ※対象SNS：Facebook, Twitter, Instagram, LINE

B.LEAGUE SNS フォロワー数 **650** 万人超。



B.LEAGUE CLUB SNS

クラブSNSフォロワー数 ※対象SNS：Facebook, Twitter, Instagram,

B1・B2クラブの合計ファン数は約 **320** 万人突破。昨対比130%以上の成長

	B1					B2					
	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	
ファン数	1,436,969	1,660,548	1,871,715	2,214,715	2,699,210	ファン数	480,675	495,929	547,320	519,523	565,300
最多合計ファン数	232,497 千葉ジェッツ	250,492 千葉ジェッツ	269,964 千葉ジェッツ	286,316 千葉ジェッツ	312,608 千葉ジェッツ	最多合計ファン数	73,178 秋田ノーザンハビネッツ	53,950 熊本ヴォルターズ	56,589 熊本ヴォルターズ	58,899 熊本ヴォルターズ	66,068 熊本ヴォルターズ
最多  ファン数	80,976 千葉ジェッツ	80,347 千葉ジェッツ	79,556 千葉ジェッツ	79,047 千葉ジェッツ	77,897 千葉ジェッツ	最多  ファン数	17,191 広島ドラゴンフライズ	17,328 広島ドラゴンフライズ	17,386 広島ドラゴンフライズ	17,137 熊本ヴォルターズ	16,772 熊本ヴォルターズ
最多  ファン数	134,353 栃木ブレックス	140,817 千葉ジェッツ	149,087 千葉ジェッツ	158,400 琉球ゴールデンキングス	199,736 琉球ゴールデンキングス	最多  ファン数	63,419 秋田ノーザンハビネッツ	30,503 熊本ヴォルターズ	32,017 熊本ヴォルターズ	33,608 熊本ヴォルターズ	44,596 ライジングゼファー福岡
最多  ファン数	18,562 琉球ゴールデンキングス	29,328 千葉ジェッツ	41,321 千葉ジェッツ	53,221 千葉ジェッツ	67,046 千葉ジェッツ	最多  ファン数	5,111 ライジングゼファー福岡	6,171 熊本ヴォルターズ	9,240 広島ドラゴンフライズ	9,974 ライジングゼファー福岡	11,893 仙台89ERS

B.LEAGUE 2021-22 REGULAR SEASON B1 RESULT

レギュラーシーズン順位表 B1

EASTERN CONFERENCE - 東地区 -

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 千葉ジェッツ	35	10	.778
2	 川崎ブレイブサンダース	42	13	.764
3	 アルバルク東京	39	14	.736
4	 宇都宮ブレックス	40	16	.714
5	 秋田ノーザンハピネッツ	31	23	.574
6	 サンロッカーズ渋谷	33	26	.559
7	 群馬クレインサンダース	25	30	.455
8	 横浜ビー・コルセアーズ	22	35	.386
9	 レバンガ北海道	21	35	.375
10	 茨城ロボッツ	16	38	.296
11	 新潟アルビレックスBB	7	45	.135

WESTERN CONFERENCE - 西地区 -

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 琉球ゴールデンキングス	49	7	.875
2	 島根スサノオマジック	40	15	.727
3	 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	34	15	.694
4	 シーホース三河	30	23	.566
5	 信州ブレイブウォリアーズ	28	26	.519
6	 広島ドラゴンフライズ	29	28	.509
7	 富山グラウジーズ	24	35	.407
8	 大阪エヴェッサ	21	36	.368
9	 京都ハンナリーズ	14	43	.246
10	 滋賀レイクスターズ	14	43	.246
11	 三遠ネオフェニックス	10	48	.172



B.LEAGUE 2021-22 REGULAR SEASON B2 RESULT

レギュラーシーズン順位表 B2

EASTERN CONFERENCE - 東地区 -

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 ファイティングイーグルス名古屋	42	8	.840
2	 仙台 89ERS	38	15	.717
3	 福島ファイヤーボンズ	34	18	.654
4	 越谷アルファーズ	25	23	.521
5	 山形ワイヴァンズ	19	33	.365
6	 アースフレンズ東京Z	10	43	.189
7	 青森ワッツ	5	47	.096

WESTERN CONFERENCE - 西地区 -

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 香川ファイブアローズ	36	16	.692
2	 熊本ヴォルターズ	36	18	.667
3	 西宮ストークス	36	19	.655
4	 佐賀バルーンズ	29	21	.580
5	 愛媛オレンジバイキングス	22	25	.468
6	 ライジングゼファー福岡	20	30	.400
7	 バンビシャス奈良	9	45	.167



B.LEAGUE 2021-22 SEASON CLUB AWARD

B.LEAGUE 2021-22 SEASON CHAMPIONS

- B.LEAGUE 年間優勝 -



宇都宮ブレックス (東地区4位)

-B2 年間優勝-



ファイティングイーグルス名古屋 (東地区1位)

- B.LEAGUE年間準優勝 -



琉球ゴールデンキングス (西地区1位)

-B2 年間準優勝-



仙台89ERS (東地区2位)

-B1 地区優勝-



- 東地区 -
千葉ジェッツ



- 西地区 -
琉球ゴールデンキングス

-B2 地区優勝-



- 東地区 -
ファイティングイーグルス
名古屋



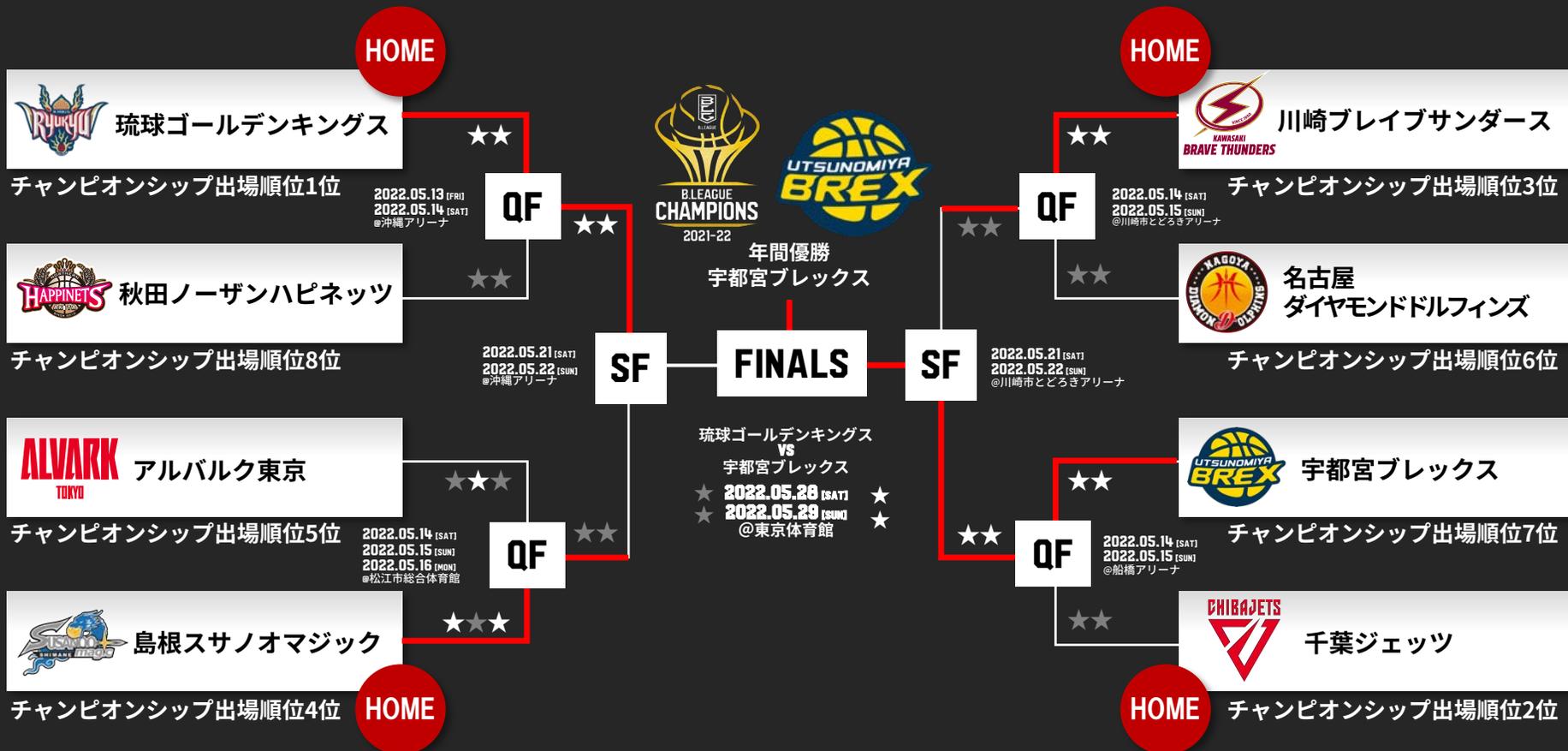
- 西地区 -
香川
ファイブアローズ





B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2021-22

日本生命 B.LEAGUE FINALS 2021-22



B2
PLAYOFFS
2021-22

B2 PLAYOFFS 2021-22



B1 LEADERS

B1 リーダース表彰

得点王	アシスト王	リバウンド王	スティール王	ブロック王	ベスト 3P成功率賞	ベスト FT成功率賞
#21 ショーン・ロング SHAWN LONG 25.0	#2 富樫 勇樹 YUKI TOGASHI 6.4	#11 セバスチャン・サイズ SEBASTIAN SAIZ 12.4	#34 パブロ・アギラール PABLO AGUILAR 1.6	#9 アレックス・デビス ALEX DAVIS 1.5	#32 狩野 祐介 YUSUKE KARINO 52.9	#0 橋本 竜馬 RYOMA HASHIMOTO 92.0

B2 LEADERS

B2 リーダース表彰

得点王



#8 LJ・ピーク

L.J. PEAK
23.7

アシスト王



#33 俊野 達彦

**TATSUHIKO
TOSHINO**
6.2

リバウンド王



#5 アイザック・バツ

**ISAAC
BUTTS**
14.0

スティール王



#22 マイルズ・ヘソン

MYLES HESSON
2.2

ブロック王



#34 ベンジャミン・ローソン

**BENJAMIN
LAWSON**
1.8

ベスト
3P成功率賞



#37 河野 誠司

**SEIJI
KOUNO**
43.7

ベスト
FT成功率賞



#13 道原 紀晃

**NORIAKI
DOHARA**
85.5

B.LEAGUE 2021-22 REGULAR SEASON BEST 5 / MVP



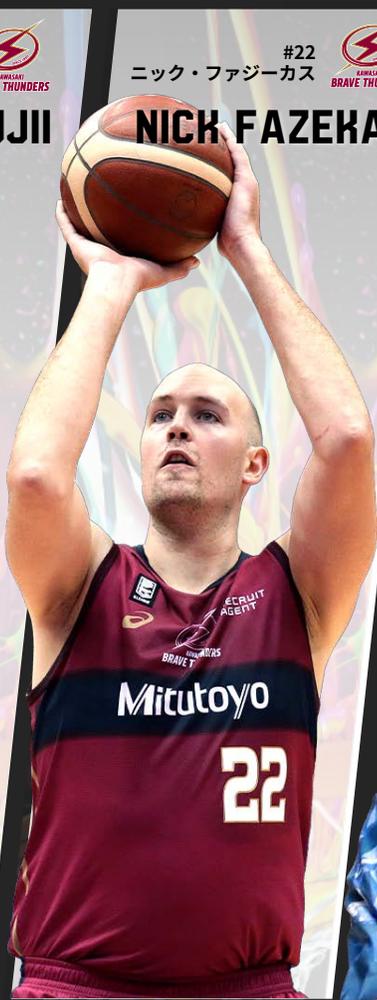
#2 富樫 勇樹

YUKI TOGASHI



#0 藤井 祐真

YUMA FUJII



#22 ニック・ファジーカス

NICK FAZEKAS



#3 安藤 誓哉

SEIYA ANDO



#13 ドウェイン・エバンス

DWAYNE EVANS



MVP



#0 藤井 祐真
YUMA FUJII

B.LEAGUE 2021-22 SEASON VARIOUS AWARD

B1 B2 個人表彰/特別表彰

B.LEAGUE
CHAMPIONSHIP MVP
比江島 慎 #6

日本生命
ファイナル賞
鷗 誠司 #18

B.LEAGUE 2021-22
HEAD COACH OF THE YEAR
最優秀ヘッドコーチ賞
安齋 竜三

B.LEAGUE 2021-22
DEFENSIVE PLAYER OF THE YEAR
ベストディフェンダー賞
藤井 祐真 #0

B.LEAGUE 2021-22
TOUGH SHOT OF THE YEAR
ベストタフショット賞
中山 拓哉 #17

B.LEAGUE 2021-22
SIXTHMAN OF THE YEAR
ベスト6thマン
クリストファー・スミス #34

B.LEAGUE 2021-22
B2 MVP
テレンス・ウッドヘリー #30

B.LEAGUE 2021-22
MIP
最優秀インフレッシュ選手
古川 孝敏 #51 中山 拓哉 #17

B.LEAGUE 2021-22
DRIVE YOU CRAZY賞
東京2020オリンピック・パラリンピック 日本代表チーム

B.LEAGUE 2021-22
ROOKIE OF THE YEAR
新人賞
西田 優大 #19

B.LEAGUE 2021-22
REFEREE OF THE YEAR
最優秀審判賞
加藤 誉樹

B.LEAGUE MASCOT OF THE YEAR 2021-22
川崎ブレイブサンダース
ロウル

「バスケットLIVE」On Fire大賞 B1クラブ：秋田ノーザンハピネッツ/B1選手：秋田ノーザンハピネッツ #17 中山 拓哉 B2クラブ：熊本ヴォルターズ/B2選手：熊本ヴォルターズ #5 磯野 寛晃
ベストパフォーマンス チーム：フライトクルーチャリダーズSTAR JETS/千葉ジェッツ ソーシャルメディア優秀クラブ：琉球ゴールデンキングス



B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA - 開催中止 -

開幕初年度のオールスターは、国立代々木競技場第一体育館で実施。約10,000人のファンが駆けつけ大成功をおさめました。そして、2018年に復興支援を軸に開催された熊本でのオールスターゲームでは、選手達が熊本地震/九州北部豪雨被害にあった地域を訪問し、被災地の方々と触れ合い、オールスターゲームでは大いに会場を盛り上げました。3度目は富山県富山市で開催。4年目は北の大地 北海道札幌市で開催。いずれもたくさんのファンの方々の笑顔を目にすることができました。そして5年目の茨城県水戸市で開催される予定だったオールスターゲームは、チケットについても例年通り即日完売という状況にもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、ONLINE CONTEST企画を実施。そして2022年、「DRIVE TO DREAM」というテーマを掲げた沖縄開催のオールスターゲームも新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、沖縄アリーナでの開催を楽しみにしていたファンの方々のために1月15日にバスケットLIVE及びB.LEAGUE公式YouTubeで番組配信を実施いたしました。



- コンテンツ -

- ◆B.LEAGUE ベストプレイヤーランキング！～B.LEAGUE 部門別ベストプレイヤーは誰だ?!～
- ◆B.LEAGUE ALL-STAR クイズ！
- ◆「プロチャレ！supported by 富士通」表彰式
- ◆B.LEAGUE 夢会議！～B.LEAGUE の未来を考える～

【出演者】

MC：副島 淳/小林 真治/谷沢 正樹
ゲスト：浅利 陽介 (B.LEAGUE FREAK) /佐々木 クリス (B.LEAGUEアナリスト)
選手：比江島 慎 (宇都宮ブレックス) /ベンドラメ 礼生 (サンロッカーズ渋谷) /
山内 盛久 (三遠ネオフェニックス) /サーディ・ラベナ (三遠ネオフェニックス) /
キーファー・ラベナ (滋賀レイクスターズ) /内藤 耀悠 (レバンガ北海道U18) /
須藤 春輝 (琉球ゴールデンキングスU18)
島田 慎二 (B.LEAGUEチエアマン)

B.LEAGUE HOPE

スポーツリーグとして日本初の社会的責任活動プロジェクト。
ステークホルダーとともにさまざまな社会的責任活動を「B.LEAGUE Hope (B.Hope)」と称し、推進。



B.LEAGUEは、環境・貧困・ジェンダーなど、直面する社会問題にも取り組みます。
- Off-Court 3Point Challenge - 国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に向かって、「Planet(地球)」「Peace(平和)」「People(人類)」の3つの領域で活動しています。
今シーズンも新型コロナウイルス感染症の影響により様々なイベントが中止となりましたが、その状況下で出来ることを模索し、社会的責任を果たすべく様々な取り組みを実施してまいりました。

2021年	2021年12月 -2022年2月	B.LEAGUE Hope アクティブチャイルドプログラム - スポーツ庁国庫補助金事業
2022年	1月15日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA B.Hope Action DRIVE TO DREAM 「プロチャレ! (プログラミングチャレンジ) supported by 富士通」
	3月11日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA B.Hope Action DRIVE TO DREAM 「届け、バスケ! supported by 日本郵便」
	4月4日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA チャリティーオークション実施
	5月7日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2022 IN OKINAWA B.Hope Action DRIVE TO DREAM 「リモートコーチング supported by SoftBank」
	5月28日	B.LEAGUE Hope × スペシャルオリンピックス日本 共同プロジェクト「Challenge with ALL」 発足
	5月28日-29日	B.LEAGUE Hope × スペシャルオリンピックス日本 「日本生命B.LEAGUE FINALS 2021-22 Challenge with ALL supported by サテライトオフィス」



沖縄県では子どもたちの教育などの格差が地域課題の一つとされています。また、新型コロナウイルスの影響により、子どもたちの運動不足が全国的に社会課題になっており、日本郵便株式会社様のご協力のもと、ミニゴールとミニボールを、「子ども第三の居場所」を利用する子どもたちに贈呈することで、スポーツの楽しさを体験してもらいながら、頑張ることやチームワーク等、子どもたちの健やかな成長を支援しました。



沖縄県北部に位置する離島、伊江島に唯一存在する中学校「伊江村立伊江中学校」。県内で1チームのため身近に対戦相手がおらず、さらにコロナ禍で部活動が制限され、活動する機会が減っていました。そんな子どもたちに「練習のモチベーションを得る」「プロの指導を受ける」といった機会を提供するため、ソフトバンク株式会社様や琉球ゴールデンキングスのご協力を得ながら、テクノロジーを活用した遠隔での指導を実施。約5ヶ月の取り組みの締めくりに沖縄アリーナで「スキルズチャレンジ」に挑み、「リモートコーチングsupported SoftBank」の成果を披露しました。



沖縄県民が抱いている「難しい・仕事がつい」といったITへのイメージを改善して興味関心を持っていただき、日本産業の技術革新に必要なIT人材の創出につながる一歩とすること、また文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」の実現に寄与できるよう、子どもたちの創造性を育めるような取り組み内容を目指し、富士通株式会社様のご協力のもと実施いたしました。沖縄県内の子どもたちはもちろん、全国の子どもたちが楽しくプログラミングに触れていただけるよう「バスケとダンス」をテーマとして、プログラミング教室とプログラミングコンテストを開催しました。



B.Hopeとスペシャルオリンピックス日本（以下、SON）は2018年にパートナーシップを締結後、ファイナルの舞台では、ユニファイドバスケットボールスペシャルゲームを開催してきました。今回取り組んだのはリモートでも参加が可能な、SNSを活用したダンス企画。SONドリームサポーターで元フィギュアスケート選手の安藤美姫さんが考案してくださいました。想いがこもった振り付けにあわせ、B.LEAGUEクラブの選手・チア・マスコットそして全国のSONアスリートが参加し、B.LEAGUE レギュラーシーズン終盤戦を盛り上げました。

B.LEAGUE STRENGTHENING TRAINING



強化育成

22歳以下の才能ある若い選手が、プロの世界に挑戦できるB.DREAMプロジェクトや、クラブユース文化の構築と醸成を目的としたU15/U18世代の育成プロジェクトを進行中。U15についてはU15 CHAMPIONSHIP 2021は出場クラブが35チームだったのに対し、2022年大会は43チームに増加。2021年6月に始動したB.LEAGUE U18もチーム数が増え徐々に規模を拡大。ユースチームからプロのコートに立つ選手も増えてきており、プロ選手への裾野は確実に広がりつつある。

【2021-22 シーズンの取り組み】

2021年	6月26日-8月1日	B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2021 開催
	7月12日/26日	B.LEAGUE U18 全選手研修 実施
	10月29日-30日	B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2021 開催
	10月23日-12月19日	B.LEAGUE U18 ELITE6 LEAGUE 開催
	11月21日-22日	B.LEAGUE U15 CHALLENGE CUP 2021 代替大会 開催
2022年	1月10日	B.DREAM PROJECT 2022 開催
	2月11日-13日	B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2022 代替大会 開催
	3月27日-30日	B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2022 開催
	4月14日/21日/5月26日	B.LEAGUE U15/U18 COACH SUMMIT 2022 開催
	6月19日	B.LEAGUE TRYOUT 2022 開催
	6月20日 6月4日-7月31日	B.LEAGUE U18 全選手研修 実施 B.LEAGUE U18 REGIONAL LEAGUE 2022 開催

B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2022

昨年に引き続きコロナ禍の中開催された本大会は無観客での開催。43ものU15チームが参加し凌ぎを削り、持ち前のディフェンスと速攻で勝利を重ねた名古屋ダイヤモンドドルフィンズU15が連覇を果たした。



B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2021

初開催となるU18のCHAMPIONSHIPには16クラブが参戦。U15からユースで活躍する選手などが多数在籍する北海道U18が初優勝。U15での優勝経験がある名古屋D U18が2位、ユース強豪チームとして名を馳せ、トップチームの特別指定選手契約を勝ち取ったジェイコブス晶が在籍する横浜U18は3位という結果となった。



MVP

レバンガ北海道 U18
#11 内藤 耀悠

U15、U18からプロ選手へ

B.LEAGUEのU15及びU18に在籍していた選手、または現在も在籍している選手から、トップチームのコートに立つ選手が徐々にではあるが増えてきている。2020-21シーズンから横浜U15から東京Zに加入したケイン・ロバーツを皮切りに、今シーズンも横浜U18のジェイコブス晶、三遠U18の岡島和真の2人の選手がトップチームのコートに立った。



そしてU18 CHAMPIONSHIP 2021でMVPに輝いた内藤選手は、U16の日本代表として活躍。FIBA U17ワールドカップ2022にも出場しており、「世界に通用する選手」が着実に育成されてきている。今後もさらに「世界に通用する選手やチームの輩出」を目指していく。



©FIBA



B.LEAGUE

THANK YOU FOR ALL

DRIVE YOU CRAZY

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE